



緑ヶ丘公園
児童遊園

子どもたちの遊び場を新しく

昭和の時代から整備が進められ、広大な敷地と豊かな自然に恵まれた緑ヶ丘公園。多くの市民に親しまれている、帯広市を代表する公園の児童遊園が生まれ変わりました。

問い合わせ みどりの課(市庁舎6階、☎65・4187)



名称は児童が考案

「トータルジャングル」

今年7月、緑ヶ丘公園近隣の花園小学校、緑丘小学校の児童を対象に、新たな遊具広場の名称を募集しました。選考の結果、緑丘小学校の児童が考案した「トータルジャングル」に決定しました。

7月27日に表彰式を開催し、名称を考案した児童に表彰状と記念品を贈りました。また、すてきな名称を考えた児童4人にも記念品を贈りました。



「トータルジャングル」を考えた 貝愛梨さん

全29種の機能が楽しめる
新設された遊具は、全29種の機能を備え、高さ約4メートルの展望台から長さ約10メートルの滑り台を滑ったり、ネットの上を渡ったり、壁を登ったりと、さまざまに楽しみ方ができます。

道東初の遊具新設
1~3歳児が安心して遊べる
1~3歳児が安心して遊べる遊

位置図



帯広市を代表する公園「緑ヶ丘公園」。平成19年に整備された児童遊園の遊具は、多くの子どもたちに利用されてきました。しかし、老朽化により使用できないものが複数あったことから、市は今年7月に新たな遊具を設置しました。

具を、道東で初めて設置しました。遊具をフェンスで囲うことで飛び出しなどを防いでおり、保護者が近くのベンチで休みながら、子どもたちの様子を見守ることもできます。ぜひ生まれ変わった児童遊園に遊びに来てください。

おびひろ

Public Information OBIHIRO

平成30年
(2018年) 9
No.1132
September

発行:帯広市
編集:政策推進部広報広聴課
〒080-8670
帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24-4111
FAX(0155)23-0151
帯広市ホームページ
<http://www.city.obihira.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

7月末の人口と世帯数

人口▶167,059人
(前月比+27人)
男▶79,638人
女▶87,421人
世帯▶87,556世帯
(前月比+75世帯)

7月の火災発生件数

2件(前月比±0件)

7月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,530t
(前年同月比+241t)
資源ごみ(Sの日)量 623t
(前年同月比+18t)

今月の紙面

十勝最大の食の祭典…6



十勝の豊かな食材を使った料理がテーマの、作る人と食べる人の出会いの場「とかちマルシェ」を、JR帯広駅周辺で開催します。

行ってみよう認知症カフェ
..... 5

悩んだ時はSOSを出そう
..... 7

子どもの発達と子育て
..... 9